

私のすすめるこの1冊

山内 朋樹(美術科 准教授)

『食べたくなる本』

三浦 哲哉 (著)

大学生になった僕が楽しみにしていたことのひとつ——それは自らの手で日々の食事をまかなうことだった。

下宿近くの量販店で調理器具や食器類をひとつと取り揃えた僕は、さっそく『キャベツ』か『レタス』か、あるいは『サラダ』だったか、ともかくそんな名前の初心者用料理特集のついた雑誌を買ひ込み、そこに掲載されていた回鍋肉、肉じゃが、ビーフシチューといった料理を片っ端からつくっていった。

小学生男子的な発想しか持たなかった当時の僕は、愚かにも「最高」のカレーや「本物」のパスタなんかを食べてみたかったのかもしれない。とはいえそんなもの食べたこともなく、食べに行く財力もない学生には、専門的な料理本を片手に、自らそれらしい食事をつくりだすほかなかった。

こうしてひたすら料理をし、自ら味わう過程で、ほどなく当たり前ながら重要なことに気づくことになる。それはマンガやメディアで演出される「本物」や「最高にうまいもの」を頂点とした食のヒエラルキーなど見当たらず、無数の「違い」ばかりがある、という眩暈さえ覚える現実だ。

ただ、それぞれに異なり、ただ、いくつもの違いがある——これこそがうまい、というのはひとつの先入見であり、習慣であり、信仰でしかない。料理本とともにあらためて食の世界に向きあうなら、そこにはいくつものおいしさの基準がある。

「おいしい」のかたちが千差万別であることにしみじみと思いついた。そして、自分がふだん

「おいしい」とか「おいしくない」という場合のその基準など、この世界に存在する無数の基準のなかのほんの一つにすぎないということに気づかされる。そのことを貴重だと思う。なにか、肩の荷をおろしたような、ほっとする気分にはなる。それはつまり、自分が抜き差しがたく囚われている「習慣」の狭さに気づき、それを相対化し、ほんの少しだけ、その囚われから解放されるきっかけを与えてくれるからではないか[...]いろいろな「おいしい」を知って身軽になること、優しくなること。(p.8)

いくつもの料理本を批評しながらあらゆる基準に寄り添おうとし、その基準そのものを再構築する著者の手つきは料理への愛に満ちている。僕たちはたんなる先入見を盲信して不毛な食のヒエラルキーをつくりだす代わりに、無数の基準を比較し、それぞれのおいしさを楽しみ、批評しながら、ひとつの先入見からまた別の先入見へと、ひとつの習慣からまた別の習慣へと、ひとつの信仰からまた別の信仰へと漂流し続けることができるはずだ。求道的に、ではなく、あくまで「中途半端な愛好家」(p.44)の態度で。

料理だけでなく、どんな分野においても、人は自ら設定したに過ぎない偽のヒエラルキーに絡めとられ、高みを目指して犬のように走り出してしまふ。誠実に「中途半端」であり続けること——食の幸福を日々の食卓に取り戻すために、ひとつの先入見にはおさまらないこの世界の多様性に触れるために。



貸出扇風機

暑い日が続きます。カウンターで扇風機を貸出してありますのでお気軽にご利用ください。

涼しく勉強・研究！



学修相談カウンター／リクエストと投票で話題の本を読もう！

9月はお休みですが、10月に再開します！

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

どんどん
利用して
ください！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

【リクエストは随時受け付けています。(カウンター横の机)】

- ・学習研究目的のものは原則として購入します。
- ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。(結果によっては購入できないこともあります。)

※読みたい本がありましたらぜひリクエストください。

【最近買った本】

- ・世界一美しい食べ方のマナー / 小倉朋子著
- ・公式ガイド&レシピ きのう何食べた？ / 講談社編集
- ・しょうがっこうがだいすき / うい著
- えがしらみちこ絵



オープンキャンパス

オープンキャンパスでは、参加者・付添者約800名におこしいただきました。みなさま、ご協力ありがとうございました。



夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月27日(土)～9月18日(水)
院生・教職員：7月13日(土)～9月3日(火)
【返却期限日】10月3日(木)
※卒業・修了予定者は9月10日(火)まで



雑誌の製本作業について

8月から10月中旬(予定)まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2017年～2018年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。

製本後はすべて西館3階(書庫)に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中の製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。



職場体験報告

8月28日(水)から29日(木)にかけて、附属特別支援学校から職場体験実習の生徒を1名受け入れました。みなさま、ご協力いただきありがとうございました。



有効期限の延長について

2019年9月末で本学を修了する予定の方(科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む)は、貸出可能な有効期限が9月10日(火)までとなっているため、返却期限日も9月10日(火)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月10日(火)以降も研究を継続する場合に限り、有効期限を9月30日(月)まで延長することが可能です。カウンターにて手続きして下さい。なお、図書館への入館・閲覧については、手続き不要です。(9月30日(月)まで利用可能)



企画展示室

通過展：美術領域専攻 1 回生

【会期】8月20日（火）～9月25日（水）

【時間】10:00～17:00

★美術領域 1 回生の初めての展示会です。
みんなの思いあふれる作品を是非ごらん
ください！★

会期初日はオープンキャンパスのため
図書館にも約 800 名の見学者が訪れ、
美術領域専攻一回生の
「通過展」にも、たく
さんの方が作品を鑑賞
されていました。

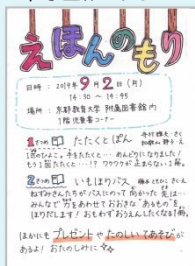
作品に関しての様々
な質問に対し、説明を
するなど盛り上がって
いました。



児童書コーナー（南館 1 階）



↓ 学生作のチラシ



学生による絵本のよみきかせ

★9月2日（月）
14:30～14:45
『たたくとぼん』他

★9月17日（火）
14:30～14:45
『どんぐりないよ』他



今月の絵本カード（学生作）

『3びきのくま』

絵：たちもと みちこ 出版社：プロンズ新社



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。



企画展示室の利用について

展示にご興味ございましたら、利用について図書館事務室までお問い合わせください。

【過去開催された公開展示】
研究発表（e-Project）、写真展、作品展、美術展、ミニ博物館 など。
どんどん活用してください。

＜今月の逸品＞
展示場所：図書館
（8・9月展示）



『仏像画文軒丸瓦
（ぶつぞうがもん・
のきまるがわら）』

教育資料館 まなびの森ミュージアム

＜お知らせ＞

- ◆【9月の開館日】2日（月）、9日（月）、16日（月祝）、23日（月祝）、30日（月）
【開館時間】13:30～17:00
- ◆第8回京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー（本学は参加大学です。）
【開催期間】2019年12月7日（土）まで、好評開催中！

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



論のくちび理のむすび

今回の執筆者 香川 貴志(社会科学科 教授)

笠置町における観光の衰微とその背景 —地域活性化に向けた方策提言を含めて—

香川 貴志

京都教育大学紀要. 2018, No. 133, pp. 117-130.

本稿は、京都府相楽郡笠置町における観光の衰微について考察した論文である。笠置町は木津川が溪流から緩流に変わる地であり、戦前は皇国史観のもとで笠置山の山岳信仰、それに付随する史蹟名勝観光の要衝として賑わった。しかし、公共交通を利用した物見遊山型の観光形態は、高度経済成長期以降のモータリゼーションの進展とともに衰退し、キャンプなどのレジャーへと変質していった。その変容過程が、旧版の時刻表を史資料に活用した本稿の分析によって解明される。

笠置町に居住する人々からは「鉄道は昔の方が便利だった」と頻りに聞く。しかし、上記の分析を通じてそれが真実ではないことが判明した。つまり、高度経済成長期や1980年頃よりも直近の方が列車の頻度は高く、利便性に優れている。このことから考えて、直近の鉄道交通が人々に利便性を実感させるに至っていないのは、奈良や大阪への直通列車が全廃されたことによる可能性が高い。常住人口の減少に歯止めがかからないのも、交通利便性のイメージに悪影響を受けているためだろう。

こうした笠置町は、言わずもがな財政基盤が脆弱である。その地域活性化を図るには、経済的負担の軽い効果的な事業が必須である。自然と巨岩に溢れる静かな山里の良さをアピールできるようなブログコンテストの開催、少人数ながら複式学級が無く給食が無料の小学校教育など、知られざる魅力をいかに広報していくのかに笠置町の命運が委ねられているといっても過言ではあるまい。

【笠置をより深く知っていただくための拙稿】①香川貴志(2018)「笠置町における観光の興隆とその背景」、立命館地理学, 30, pp.111-120., ②香川貴志(2019)「笠置観光の盛衰と将来展望」(京都学研究会編『京都をまなぶ：南山城編』, ナカニシヤ出版), pp.162-179.

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 133号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2019年9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9/4 館内整理日
9/14 大学院入試

2019年10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10/1 後期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.228 (2019年9月号)

発行日:2019年9月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION